

シンポジウム 主催「医療過誤原告の会」：共催「医療の良心を守る市民の会」

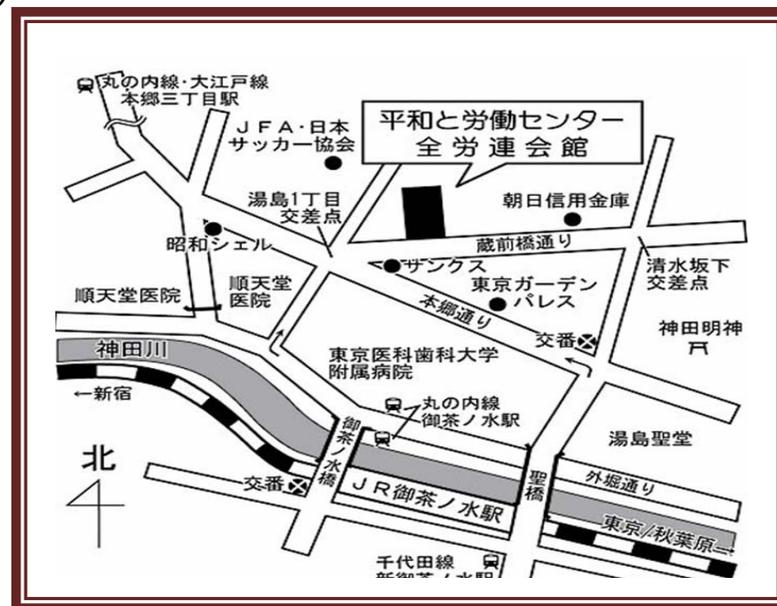
なぜ大学病院で医療事故が繰り返される？：群大事故の事例から

日時 2017年12月3日(日) 13:30~16:30
会場 東京・御茶ノ水 全労連会館ホール 文京区湯島2-4-4
(JR 御茶ノ水駅 徒歩8分 地図参照) TEL 03-5842-5610
参加費 無料 受付 当日受付(事前申し込み不要)

12月3日(日)

東京

- 内容 1. 医療事故被害報告(敬称略)
- ・小川 和宏(医療過誤原告の会・会員、金沢大学医学系准教授)
2. 基調講演・弁士(敬称略)
- ・高梨 ゆき子(「大学病院の奈落」著者：読売新聞記者)
「群馬大学附属病院事故を取材して」
 - ・勝村 久司(医療情報の公開・開示を求める市民の会・代表世話人)
「大学病院医療事故・再発防止と被害者の役割」
 - ・梶浦 明裕(群馬大学病院被害者対策弁護団事務局長：弁護士)
「群馬大学病院事故・遺族の思いを受け止めて」
 - ・宮脇 正和(医療過誤原告の会・会長)
「画像診断書見落とし事故、病院の対応と被害者の思い」
3. シンポジウム 「なぜ大学病院医療事故が繰り返される？」
- シンポジスト 高梨 ゆき子(同上)
勝村 久司(同上)
梶浦 明裕(同上)
宮脇 正和(同上)
- コーディネーター 永井 裕之(医療の良心を守る市民の会・代表)



主催 医療過誤原告の会 ☎ 090-6016-8423 東京都東村山市多摩湖町1-2-2-2 宮脇方
共催 医療の良心を守る市民の会 ☎ 090-1795-9452 浦安市入船3-59-101 永井方
後援 患者の視点で医療安全を考える連絡協議会